



気候変動と私たち 東北・いわての暮らし



熱中症の増加

気候変動の影響への「適応」とは？

地球温暖化やそれに伴う気候変動が、将来、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制（**緩和**）に向けた努力をしていくことが求められます。一方で、緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、**適応**です。



水災害の増加

避難場所・非常持ち出し品の確認



農産品の品質低下

高温耐性のある品種の開発

職場環境の管理、
高齢者への見守り

入場
無料

(要申込)
定員
100名

2017年
11月22日(水)
岩手県水産会館 大会議室
13:10 ~ 16:15

講師

- 大隅 智子氏 気象予報士・防災士

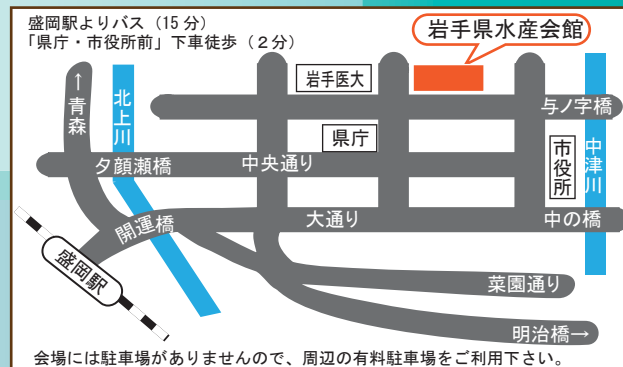
講演題：「増える異常気象と地球温暖化について～自分の命は自分で守る～」

- 大久保 さゆり氏

農研機構東北農業研究センター
生産環境研究領域 農業気象グループ主任研究員

講演題：「農業と気候変動～研究紹介と気象情報の利用～」

主催 環境省、岩手県
事務局/申込先 日本エヌ・ユー・エス株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル5階
TEL:03-5925-6740 FAX:03-5925-6745
E-Mail: adaptation-tohoku@janus.co.jp (担当: 橋爪、仲川)



会場には駐車場がありませんので、周辺の有料駐車場をご利用下さい。

講師プロフィール



大隅 智子：気象予報士・防災士

大学卒業後、NHK 松山放送局、北陸放送、NHK-BS ニュースで、キャスターやアナウンサーを務める。報道現場を経験する中で気象災害報道に携わりたいと思うようになり、気象予報士を取得。いざという時「命を守る行動」を起こしてもらえるような、わかりやすい天気予報を目指し勉強を重ねている。



大久保 さゆり：農研機構東北農業研究センター 生産環境研究領域
農業気象グループ 主任研究員

(公財) 東京都環境科学研究所非常勤研究員などを経て、2016 年より現職。冷害や高温障害、病害発生など農作物の栽培に関わる気象の解析や、それらの警戒情報の発信に取り組んでいる。

時間	内容
12:40	受付開始
13:10	開会 主催者挨拶
13:15	【基調講演】 「気候変動の影響への適応に向けて」 環境省東北地方環境事務所 【講演】 「増える異常気象と地球温暖化について～自分の命は自分で守る～」 気象予報士 大隅 智子氏
14:40	休憩
14:45	【講演】 「岩手県の気候変動の影響への適応に関する取組」 岩手県環境生活部 【講演】 「農業と気候変動～研究紹介と気象情報の利用～」 農研機構東北農業研究センター 生産環境研究領域 農業気象グループ 主任研究員 大久保 さゆり氏
15:55	質疑応答
16:15	閉会

お申込み用紙

※切らずにそのままFAXしてください。 (申込締切 2017年11月17日(金))
FAX 03-5925-6745

※メールでの申し込みも可能です(アドレスは表面に記載)。メールの場合は、本文に直接以下の必要事項をご記入ください。

氏名(ふりがな)

所属

TEL

FAX

E-mail

定員に達してご参加頂けない場合、事務局よりご連絡をさせていただきます。
ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事のみ使用します。